

2019年06月(8編)

2019年6月1日のアーカイブ

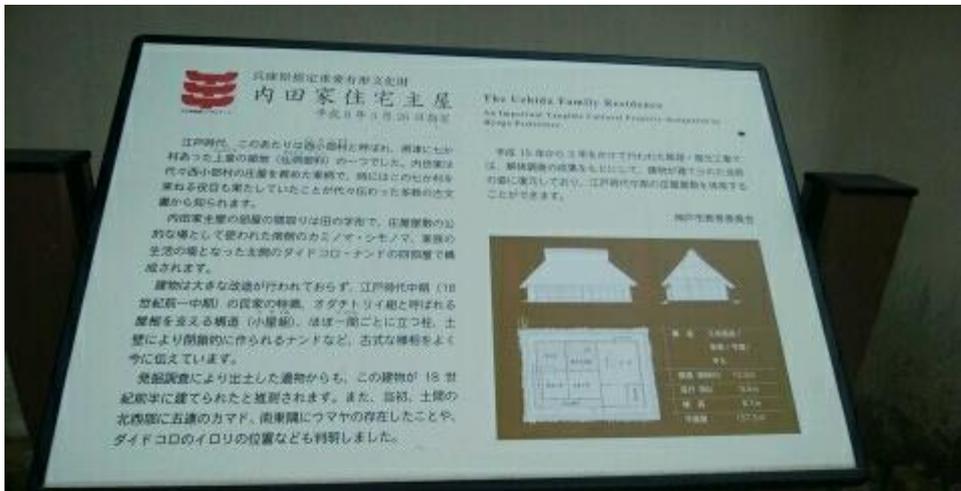
[神戸鈴蘭台に残る茅葺きの元庄屋・内田邸](#)

鈴蘭台駅から歩いて15分の処に建つ内田邸。

現在、屋根を葺き替え工事中。

門をくぐると家主らしき人が出て来たので、「写真撮らせて下さい」と言うと「どうぞ、来週土曜日工事見学会をします」とのこと。

工事終了後改めて来るとしよう。



2019年6月1日 カテゴリー： [ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年6月4日のアーカイブ

アウェアネス・リボンの雲



車のうしろにリボンのステッカーを貼っている人をよく見かける。
様々な色をしたステッカーはそれぞれの社会運動により色分けされている。
リボンを逆さまにしたような雲をデッキから観た。

アウェアネス・リボン (英: **Awareness ribbon**) とは輪状に折った短い一片のリボン、もしくはそれを描いた絵などで、アメリカ・カナダ・オーストラリア・イギリス、その他世界各地で、着用者（使用者）が社会運動、もしくは社会問題に対してさりげない支援や賛同の声明を出す方法として使用されている。

国内外様々な運動が特定の色のリボンをシンボルに使っており、以下はその一例である。項目の下位になるほど主張が世界的ではなく独自性が高い。

ホワイトリボン

・平和、飢餓 ・母体保護、母子の健康 ・阪神・淡路大震災への追悼・感謝・復興の願い ・思春期の性的少数者の自殺を予防 ・ブラック企業撲滅 (([Wikipedia](#) 最終更新日 2019.03.01)



2019年6月4日 カテゴリー：[丸太小屋の四季](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年6月5日のアーカイブ

[この～樹、この花なんていう名前](#)

鈴蘭台の家の片隅に名前の知らない花が咲いた。

遅まきながら初めて気が付いた。

図鑑で調べたがいまひとつよく分からない。

ミズキ科らしいがその先が・・・、やまぼうし？にしては花びらが細い。

もう少し注意して見よう。



2019年6月5日 カテゴリー： [無題](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年6月11日のアーカイブ

[小アジ来たりてイワシ去り](#)

今シーズン初めてアジの釣行。

沢山戴いた。

梅雨が明けるまで、何度かお世話になるだろう。

アジさんよろしく。



2019年6月11日 カテゴリー：釣り 投稿者：yuyu-sha

2019年6月15日のアーカイブ

こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話 & アイ・フィール・プリティ！ 人生最高のハプニング



こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話

渡辺一史の「こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち」の映画化。

筋ジストロフィーを患った青年の晩年を、たおやかに伸び伸びと謳いあげている。

先の見えない病のなか、周りに気を配り周りを励まし最期まで向上心を持ち続けた鹿野康明氏に頭が下がる。

- ・監督・脚本：前田哲
- ・出演：大泉洋／高畑充希／三浦春馬／萩原聖人／渡辺真起子
- ・2018年／日本

アイ・フィール・プリティ！ 人生最高のハプニング

外見にコンプレックスを持つ女性が、ある日、自分を美貌の持ち主と錯覚する。

そこから始まる悲劇と喜劇。

あげくにもとの自分を取り戻した女性はコンプレックスから解放される。

人はあるがままに生きることによって自由になれる。

- ・監督・脚本：アビー・コーン／マーク・シルバースタイン
- ・出演：エイミー・シューマー／ミシェル・ウィリアムズ／ロリー・スコベル／エミリー・ラタコウスキー／エイディ・ブライアント
- ・2018年／アメリカ／I Feel Pretty

(於いて；湊川パルシネマ)

2019年6月15日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha

2019年6月19日のアーカイブ

上げ三分

一週間に一度の釣りを楽しむ。

アジ行は2度目か？

今年はアジが豊富だ。

イワシもよく連れた。

冷やかに来た人としばし釣り談義。

今年、タコはサッパリらしい。

経験上アジ、イワシは「上げ三分（山で言うと登りの3合目あたり）」がよく釣れる。



2019年6月19日 カテゴリー：釣り 投稿者：yuyu-sha

2019年6月21日のアーカイブ

[元町に遊ぶ「映画・アイたちの学校」ほか](#)

久しぶりの元町。

主目的は差別と闘って来た在日朝鮮の方たちの苦悩と希望を描いた「アイたちの学校」鑑賞。

その前にランチ。

本日はむかしワイフがよく通った昭和のかおり漂う1965年開業のこじんまりしたレストラン。

店は代が変わり娘さんがハズと経営していた。

こうした元町ブランドが受け継がれていることに気が安まる。



ランチのあと映画。

観終わって館外に出ると黒山の人だかり。

次の上映、「慰安婦問題」を扱った「主戦場」を待つ人々。

出演者の櫻井よし子氏らが上映中止を求めマスコミを賑わした作品。

良心は死んでいない、上映を掲げた「元町映画館」に拍手。



元ブラを楽しんで、仕上げは焼きたてのブレッド。

一本800円(税別)をゲット。



2019年6月27日のアーカイブ

映画「長いお別れ」・ほか



一昨日?梅雨入りした関西、間もなく梅雨明けらしい。

常に観る映画館「湊川パルシネマ」の支配人が代替わりして少し趣向が変わった。私は先代の方が好きだ。

そこでワイフとは別々の映画を観る機会が増える。

ワイフは湊川、私は三宮へ。

「シネ・リーブル神戸」で「長いお別れ」を観た。

認知症の父を家族が陽だまりのような包容力で静かに見守る。

7年にわたり徐々に消えゆく命が愛おしい。

身につまされる事もなく仄かなぬくみさえおぼえる。

あらためて観る蒼井優の「憂い」がいい。

鑑賞後ワイフに頼まれたパンを買いに元町へ。

販売時間中だったのでスムーズに買えた。

近くの中野街で豚マンを買う。1個百円にヒックリコックリ!

このデフレの時代に、十円刻みで幾度値上げしたのか。

売れば売れるほど値上げ？ 商いの道もさまざま。

此処で買うのも最後か。



2019年6月27日 カテゴリー： [フード](#), [鑑賞\(映画・演芸 etc.\)](#) 投稿者：yuyu-sha